

●頑張れ!! “チーム・ママ”

3月21日(春分の日)、さいたま市浦和区の大原競技場で「06年度浦和ラグビースクール卒団式」が開催されました。今年度は小学6年生11人、中学3年生6人の合計17人が当スクールを巣立っていきました。6年生の大半はジュニアへ、中学3年生は6人全員が高校でラグビー一部入部を希望しています。

今年も卒団式で恒例行事となっている親子ラグビーのゲームが、この日参加したスクール生、父兄など約250人の大歓声の中で行われました。Aチーム(小学5・6年生)対お父さんチーム(チーム・パパ)、Bチーム(3・4年生)対お母さんチーム(チーム・ママ)のゲームを行われ、中でも最もグラウンドを熱狂させたのがチーム・ママのプレーでした。

日頃、お母さんに頭が上がらないBチーム選手も、この日ばかりは“お返し”とばかり、普段のゲーム以上に好プレーを連続。一方、ゲーム開始前の出場勧誘には消極的であったお母さんたちも、キック・オフの笛と同時に“豹変”。「怖い、怖い」と大声を出しながらも華麗なステップで縦横無尽に駆け回り、ゴールへ突進するお母さん選手たちの姿が印象的でした。子供たちからは「怖いのは僕たち」と抗議の声。和気あいあいのムードの中、ゲーム終了後には両チームに惜しめない拍手が送られていました。

このほか、各学年の紅白戦や社会人クラブチーム対ミドルチーム(18歳以上)など、晴天に恵まれ、子供から大人まで老若男女がラグビーをエンジョイした一日でした。

